

再資源化を志向した 樹脂サッシ窓の解体マニュアル (簡易版 外窓編)

事業者用

樹脂サッシで日本を元気にする会
樹脂サッシ工業会

解体の手順 縦滑り出し窓の例



1 額縁・周辺部材の撤去



2 枠の釘・ビスの除去



3 枠・障子の取り外し



4 ガラスの除去

5 端部の切断

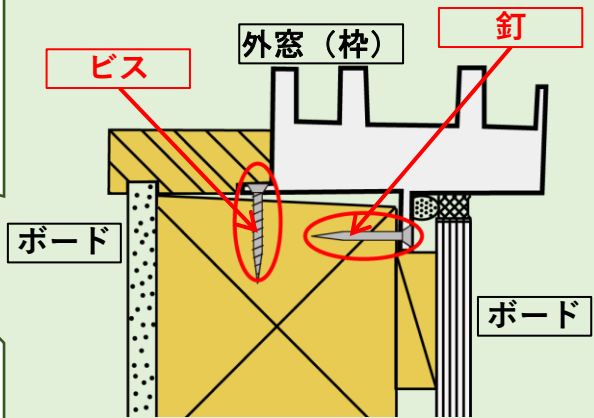


6 部材の保管

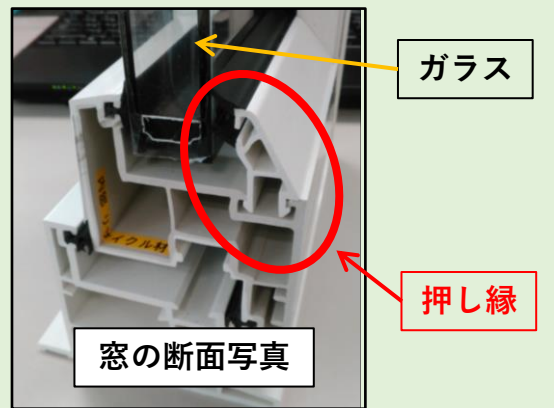
金具で連結されている場合は、枠からビスを外す必要があります。



枠は躯体にビスで固定されています。外すためには、周囲の外装材や額縁を撤去する必要があります。



押縁を外しガラスを撤去してください。



窓の断面写真

障子・枠ともに4隅を切断機等でカットしてください。サッシ内に金属の芯材に当たらないよう切断してください。最終的には、左写真のように、直線の材（長いままでOK）に解体し、保管してください。



再資源化を志向した 樹脂サッシ窓の解体マニュアル (簡易版 内窓編)

事業者用

樹脂サッシで日本を元気にする会
樹脂サッシ工業会

解体の手順 引き違い窓の例

※この例ではガラスを割って解体していますが、割らない解体方法のほうが、より効率的に作業できます。



1 障子の取り外し



2 枠のビスの除去



3



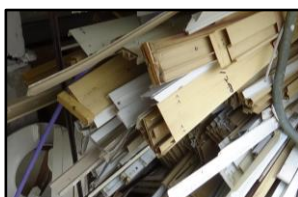
枠の取り外し



4

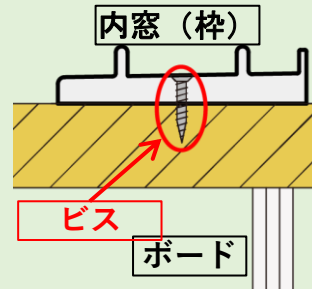


障子の解体・ガラスの除去



5 部材の保管

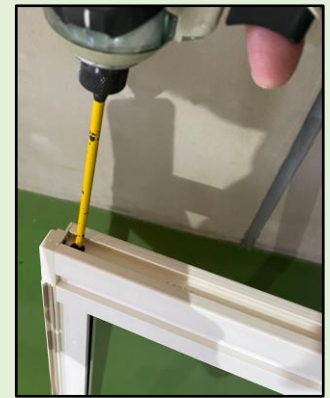
引き違い窓の場合は、そのまま障子が外れる場合と、**外れ止め**（ビス固定）を外す必要がある場合があります。



枠は木額縁にビス等で固定されているので、抜けばそのまま取り外せます。

内窓の障子は、角のビスを外せば分解します。

ガラスを割らず、安全で簡単に撤去することができます。



内窓の障子は、角のビスを抜けば、直線の材に解体できます。

内窓の枠は、木額縁から外せれば、そのまま直線の材に解体できます。

写真のように、直線の材の状態（長いままでOK）で保管してください。



再資源化を志向した 樹脂サッシ窓の解体マニュアル (簡易版 中間処理編)

事業者用

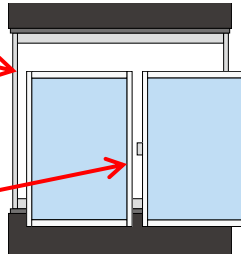
樹脂サッシで日本を元気にする会
樹脂サッシ工業会

樹脂サッシに取りつく部材には、再生工場で、サッシが受け入れ不可となってしまう部品や、その価値を下げてしまう部品があります。

そのため、該当する部品を取り除くか、取りついた樹脂サッシを廃棄（埋め立て処理）としてもらう必要があります。

枠材に取りつく部品には、受け入れ不可な部品が多く、

障子に取りつく部品には、許容可能な部品が多いです



廃棄する部品の例



ガラス片



木材



木材



サイディング



防水シート



コーキング



防水テープ

付いている時の
処理方法

付いている部品の種類

廃棄

- ・ ガラス
- ・ 網戸
- ・ 木材
- ・ 外装材など
- ・ コーキング
- ・ 防水テープなど

できるだけ
除去

- ・ 土、砂、塵埃

分解不要
(受入れ先で
処理出来ます)

- ・ 金属芯材
- ・ 金属部材
(釘、戸車、丁番等)
- ・ プラスチック部材
- ・ ガラス固定材
- ・ 気密材
- ・ ラベル、ステッカー
- ・ 発泡剤
- ・ 色あせ、汚れ